

2024年8月1日

## 国際法学会 2024年度(第127年次)研究大会ご案内

このたび、本年度の研究大会を次の通り開催いたします。  
ご多用と存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますよう  
お願い申し上げます。

一般財団法人 国際法学会  
代表理事 濱本正太郎

開催日 2024年9月2日(月)・3日(火)・4日(水)  
会 場 福岡コンベンションセンター 福岡国際会議場(2階)  
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1  
<<https://www.marinemesse.or.jp/congress/>>

※ 福岡コンベンションセンター 福岡国際会議場へのアクセスは、同封のご案内をご覧ください。

## 大会プログラム

第1日9月2日(月)

◇ 午前の部 各種委員会

◇ 午後の部(14時~17時30分): 全体会合1

場所 2階多目的ホール(203+204) 受付開始13時

「国際法における『視点』」

座長 立命館大学名誉教授 薬師寺 公夫

1 国際法への第三世界アプローチ—歴史・内容・意義

中央大学教授 西海 真樹

2 国際法におけるフェミニスト・アプローチ—「他者」を作り出さない国際法への視点

神奈川大学教授 近江 美保

3 国際法学における言語—視点と盲点

大阪公立大学教授 中井 愛子

4 国際法中国学派探求の深層構造—ロマン主義と現実主義の中国主導の新たな融合

駒澤大学教授 王 志安

理事会(18時~21時)

場所 4階411

第2日9月3日(火)

受付開始9時15分

◇ 午前の部(10時~13時): 全体会合2

場所 2階多目的ホール(203+204)

<The Honourable Shigeru Oda Commemorative Lectures>

Theme: The Future of Collective Security

Chair

UEKI Toshiya, Professor, Tohoku University

1 Is the Future for Collective Security Regional? Assessing Current Challenges to

Regional and Sub-regional Security Frameworks in Africa

Erika DE WET, Professor, University of Graz

2 Reappraising Collective Security with Expanded Security Concepts

KATAYANAGI Mari, Professor, Hiroshima University

3 Light and Shadow of the UN Collective Security System: Insights from the Perspective of the UN Security Council's Chapter VII Authorization of the Use of Force

SATO Ryosuke, Associate Professor, Seijo University

◇ 午後の部（14時30分～17時30分）：分科会

第1分科会「時間をめぐる視点」

座長 早稲田大学教授 酒井 啓亘

1 コロニアリズムの過去と現在——アフリカが経験した「法」と不正義

京都女子大学教授 戸田 真紀子

2 「科学の進歩及びその利用による利益を享受する権利」と人種主義——人骨の帰属を焦点として

成蹊大学教授 佐藤 義明

3 時際法をめぐる時間的視点

立教大学教授 許 淑娟

4 将来世代の利益を保護する法技術の展開

神戸大学助教 阿部 紀恵

第2分科会「人権という視点——人間解放か価値の押しつけか」

座長 京都女子大学教授 前田 直子

1 人権が国際私法に与える影響——国際裁判管轄に焦点を当てて

神戸大学准教授 中村 知里

2 人権侵害行為に関わる国家免除と外交免除——近年の実行の展開

静岡県立大学教授 坂巻 静佳

3 平和を上回る人権？——和平と処罰の関係の再検討

津田塾大学講師 下谷内 奈緒

4 対立か対話か——途上国から見た「ビジネスと人権」

秋田大学助教 渡邊 絢子

第3分科会「人の移動をめぐる新たな動き」

座長

名古屋大学教授 小畑 郁

1 アフリカにおける難民の移動と「安全保障化」——難民庇護国における「認識的脅威」の形成と拡散

慶應義塾大学教授 杉木 明子

2 ノン・ルフールマン原則の例外規定と日本の入管法改正——「締約国にとって危険な者」とは誰か

国際基督教大学准教授 橋本 直子

3 合法だが非正統 (legal, but illegitimate) ? ——EU の域外出入国管理をめぐる法と政治

青山学院大学准教授 大道寺 隆也

4 難民の国際的な移動と婚姻の有効性

福岡大学教授 北坂 尚洋

会員総会 (17時30分~18時)

場所 2階多目的ホール (203+204)

第3日9月4日(水)

受付開始9時15分

◇ 午前の部 (10時~13時): 公募個別報告

第1分科会

座長

専修大学教授 早川 眞一郎

1 多国籍企業による人権侵害と公序条項の適用基準——人権条約の間接適用を中心に

として

広島市立大学准教授 寺井 里沙

2 ビジネスと人権に関するハードローの展開——ライツホルダーの視座からの課題

ヒューマンライツ・ナウ副理事長 伊藤 和子

座長 奈良大学教授 村上 正直

3 個人の派生的国際法主体性

東北医科薬科大学講師 加藤 雄大

第2分科会

座長 青山学院大学教授 阿部 達也

1 国連憲章下における非国家主体に対する自衛権について——いわゆる‘Unwilling or Unable’理論を中心に

日本大学准教授 本吉 祐樹

2 国に対する強制に基づく条約の無効

東京経済大学准教授 若狭 彰室

座長 学習院大学教授 阿部 克則

3 気候変動対策としての炭素国境調整措置の意義と課題——WTO 紛争の可能性と解決策

立命館アジア太平洋大学教授 早川 修

◇ 第3日午後の部（14時30分～17時30分）：公募個別報告・公募パネル報告

公募個別報告第3分科会

座長 早稲田大学教授 河野 真理子

1 国際裁判における付随的管轄権——事項的管轄権の拡張可能性とその問題点

東北大学学術研究員 山下 毅

2 国際司法裁判所における貨幣用金原則の再検討

名古屋大学教授 山形 英郎

座長

海上保安大学校教授 下山 憲二

3 乗船検査に関する寄港国管轄権の発展——公海漁業規制の構造的変化

大阪経済法科大学准教授 來田 真依子

公募パネル報告「SDGs と国際通商法——現実と課題」

企画責任者・座長

中央学院大学教授 中川 淳司

1 持続可能な開発と国際通商法の関係についての歴史的考察——国際貿易機関憲章が志向した持続可能な開発のプロトタイプ

東京大学客員教授 米谷 三以

2 WTO と SDGs の相互関係

高崎経済大学教授 梅島 修

3 FTA/EPA と SDGs——社会条項を中心に

専修大学教授 濱田 太郎

4 国際投資協定と持続可能性

早稲田大学教授 福永 有夏

- \* Web による事前のご登録(会員限定)は、同封の「参加登録のご案内」を参考に、8 月 21 日(水)17 時まで期限厳守で必ず行ってください。
- \* お弁当を希望される方は、web による事前登録の際にご注文ください。当日のご注文は受け付けませんのでご注意ください。お弁当を注文されない方は、福岡国際会議場内または会場周辺のレストランをご利用ください。
- \* 学会会費(一般会員 10,000 円、学生会員(院生を含む)7,000 円、維持会員 30,000 円(1 口))は、すべて郵便振替用紙で納入していただくことになっておりますので、大会期間中の会場での納入はできません。
- \* 新たに入会を希望される方は、入会申込書を学会ホームページで入手のうえ、8 月 19 日(月)必着でご送付ください(宛先:〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4 階 学会支援機構 国際法学会係)。入会の可否は 9 月 2 日(月)開催の理事会で決定されます。入会手続きの方が研究大会に参加を希望される場合は、事務局からの指示にしたがって、参加登録料を事前にお支払いください(一般会員 3000 円、学生会員 1000 円)。
- \* 学生会員の場合は、年度毎に上記学会支援機構まで在学証明書をお送りいただく必要があります。在学証明書を提出できない方は、一般会員の学会会費をお支払いください。
- \* 理事会は 9 月 2 日(月)18 時から福岡国際会議場 4 階 411 会議室で開催されます。
- \* 9 月 2 日(月)午前で開催される各種委員会にご参加の方は、午後の研究大会開催前に 2 階多目的ホール前カウンターで事前に受付をお済ませください。
- \* 研究大会の実施に関するお問い合わせは、以下にお願い申し上げます。  
大会運営委員長 早稲田大学 萬歳寛之  
Email: h-banzai@waseda.jp
- \* 大会参加登録・お弁当・懇親会の申し込みやキャンセルにつきましては、「参加登録のご案内」をご参照ください。
- \* 非会員の方で傍聴を希望される方は、8 月 21 日(水)17 時まで学会 HP 記載の申込みフォームから登録して下さい。傍聴料(一般・院生 1 日 2,000 円、学部学生 1 日 1,000 円)は、登録後の指示にしたがって事前にお支払いください。
- \* なお、研究大会会場での質疑応答は原則としてオンライン上で行う予定です。質疑応答への参加をご希望になる方は、各自スマートフォン、タブレット端末、ノートパソコンなどをご持参ください。会場内では会議場提供の Wi-Fi が利用できます。